

さっぽろの“いま”を伝え、未来につなげる

さっぽろ 市議会だより

令和8年1月 冬

2026

1

第4回 定例会

(11月26日～12月10日)

令和7年度の補正予算などを
審議しました

No.149

表紙
「大倉山ジャンプ競技場」

- 可決した主な議案～補正予算～ 1
- 可決した主な議案～条例案～
下水道使用料の改定に関する
議案審査特別委員会を開催しました 1
- 本定例会の議決結果一覧 2
- 可決した主な意見書 2
- 市政を問う！代表質問から 3
- 新年あいさつ 7
- 中国・瀋陽市を訪問しました 7
- 令和8年第1回定例会審議日程 7

令和7年度の補正予算などを審議しました

令和7年第4回定例会では、令和7年度補正予算や札幌市夜間急病センター条例の一部を改正する条例案などの議案35件、意見書3件などを全会一致または賛成多数で可決しました。

可決した主な議案～補正予算～

以下の経費など、全会計総額264億3,349万円を増額する補正予算を可決しました。

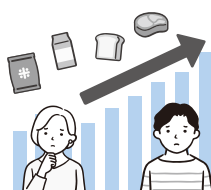
国の総合経済対策に基づく補正予算 ～総額164億7,200万円

●子育て応援手当

0歳から高校生世代までの
子どもがいる世帯
→子ども1人当たり **2万円支給**

●食料品の物価高騰支援

全ての市民を対象とした食料品の物価高騰に対する支援



その他の補正予算 ～総額99億6,149万円

●職員の給与改定関連費

●こども本の森札幌・北大の 図書購入費

●高額な薬品を必要とする 患者数の増加に伴う薬品費

可決した主な議案～条例案～

下水道使用料の改定に関する議案審査特別委員会を開催しました

「札幌市下水道条例の一部を改正する条例案」は、下水道使用料の改定を含み、市民生活に与える影響が大きいことから『議案審査特別委員会』を設置して審議しました。

《条例案可決までの流れ》

【現 状】

28年間使用料は据え置き

【課 題】

人口減少＝使用料収入の減少
施設の老朽化＝維持管理費の急増
⇒ **2027年には資金不足の見通し**

こうした状況を踏まえ、
札幌市営企業調査審議会に諮問

審議会の答申を踏まえ、使用料の改定
を含む条例案を議会に提出

より慎重な審議が必要であることから
『議案審査特別委員会』設置



条例案を可決



議案審査特別委員会の映像は、
ホームページで
ご覧いただけます。

▲映像配信

《改定の主な内容》

基本使用料 600円 → 750円(税抜き)に改定

※年間の使用料の総額を改定前と比較して平均22.6%増額
このほか、業務登録者の他の営業所との兼務を可能とするほか、接続負担金の
徴収を廃止するなど改定されました。

9年ぶり 聴聞会

議案審査特別委員会

12月8日、議論を深めるために学識経験者などの参考人を
招いて意見を聞く『聴聞会』を開催しました。

●聴聞会～参考人からの意見陳述



改正は、将来世代に健全な事業を引き継ぐため避けられない
と考えます。

相次ぐ物価高騰の中、値上げをしないでください。
低所得者に減免制度の創設をお願いします。



聴聞会では4人の参考人から意見陳述
があり、その後、委員から参考人
に対する質問がありました。

●聴聞会に出席した参考人

佐藤 久氏 (北海道大学大学院教授)
吉田 賢一氏 (連合北海道札幌地区連合会長)
白崎 伸隆氏 (北海道大学大学院准教授)
沢野 天氏 (北海道生活と健康を守る会連合会副会長)



▲意見陳述の様子

本定例会の議決結果一覧

「議案等一覧」はこちら▶



件 名 (議=議案/諮=諮問/意=意見書案/報=報告)	結果	各会派の賛否(賛成=○/反対=×)									
		自民	民主	公明	共産	坂元	かずさ	未来	健康	大地	市民・維新
議1) 令和7年度札幌市一般会計補正予算(第4号)	可決	○	○	○	×	○	○	○	×	×	×
議2~7) 令和7年度札幌市補正予算 (国民健康保険会計(第2号)/介護保険会計(第2号)/公債会計(第4号)/病院事業会計(第1号)/中央卸売市場事業会計(第1号)/下水道事業会計(第2号))	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議10) 札幌市特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例案	可決	○	○	○	×	○	○	○	×	×	×
議8・9・11~13・20~22・24・25・27) 条例(規程)の一部を改正する条例案 (札幌市職員給与条例等/札幌市一般職の任期付職員の採用及び給与の特例に関する条例/札幌市会計年度任用職員の給与等に関する条例/札幌市夜間急病センター条例/札幌市立学校教育職員の給与に関する条例等/札幌市体育施設条例/札幌市子ども・子育て支援法施行条例/札幌市建築基準法施行条例/札幌市水道事業給水条例/札幌市中央卸売市場業務規程/札幌市立学校設置条例)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議23・26) 条例の一部を改正する条例案(札幌市地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例/札幌市下水道条例)	可決	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○
議14~19) 公の施設の指定管理者の指定の件(自閉症者自立支援センター(デイサービスセンター)等/山口斎場/札幌産業展示場/都市公園/自転車等駐車場/こども本の森札幌・北大)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議28) (仮称)北・東清掃事務所事務所棟ほか新築工事請負契約締結の件	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議29) 和解に関する件	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議30) 令和8年度当せん金付証票の発売限度額を定める件	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議31) 市道の認定及び変更の件	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議32) 令和7年度札幌市一般会計補正予算(第5号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議33) 令和7年度札幌市公債会計補正予算(第5号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議34) 監査委員選任に関する件(愛須一史氏)	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議35) 土地利用審査会委員任命に関する件 (石田眞二氏/氏家正喜氏/祖母井里重子氏/笠井美青氏/川津大樹氏/小林永佳氏/森田ゆう子氏)	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
諮1) 人権擁護委員候補者推薦に関する件(岩田敦氏/越前谷孝弘氏/大向明宏氏/尾崎祐一氏/工藤哲靖氏/小竹真喜氏/佐藤智大氏/津田夢賀子氏/中村馨氏/福田友洋氏/細川晋太郎氏/八代真由美氏)	推薦することを適当と認める	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
意1) 聴覚補助機器等の積極的な活用への支援を求める意見書	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
意2) 事前復興まちづくり計画の策定支援を求める意見書	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
意3) 介護保険制度の見直しに関する意見書	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
報1~3) 専決処分報告(調停/損害賠償及び和解/工事請負契約金額変更)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
議案第26号 札幌市下水道条例の一部を改正する条例案に対する修正案	否決	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×

〔 自民…自由民主党/民主…民主市民連合/公明…公明党/共産…日本共産党/坂元…坂元・荒井/かずさ…山口かずさ/未来…未来さっぽろ/健康…健康さっぽろ/大地…大地さっぽろ/市民…市民ネットワーク北海道/維新…日本維新の会 〕

可決した主な意見書(概要)

聴覚補助機器等の積極的な活用への支援を求める意見書

難聴は、車の接近などの危険な状況に気づきにくくなるだけでなく、認知症の発症に影響する危険因子の一つとも言われているほか、コミュニケーションへの自信の喪失から社会的な孤立につながる可能性もあります。

難聴者への対策で用いられてきた従来の補聴器には、十分な効果が得られない患者や、装着そのものが難しい患者がいるという課題がありましたが、近年「軟骨伝導補聴器」などの新しい技術を用いた聴覚補助機器等が開発され、さまざまな患者に対応できる新たな選択肢が広がっています。

そこで、国会および政府に対し、次の措置を講ずるよう強く要望します。

- ① 難聴に悩む人が、医療・福祉関係者等の助言のもとで、自分に合った聴覚補助機器等を積極的に活用できるよう、聴覚補助機器等を必要とする人への情報提供につとめること。また、聴覚補助機器等を普及させる社会環境を整えること。
- ② 耳が聞こえにくい高齢者や難聴者と円滑にコミュニケーションを取れる社会の構築を目指し、行政機関等の公的窓口などに、合理的配慮の一環として聴覚補助機器等の配備を推進すること。

上記を含む可決した3件の意見書の全文は、市議会ホームページ(<https://www.city.sapporo.jp/gikai/html/ikensho.html>)に掲載しています。



▲意見書

市政を問う！ ～代表質問から～

12月2日、3日の2日間

本会議では、7人の議員が各会派を代表して、市政について代表質問を行いました。その主な質問と答弁は次のとおりです。

録画映像はこちら▶



自由民主党

わだ かつや

和田 勝也 議員(手稲区)

■ 物価動向などを踏まえた成長投資戦略

Q 国は、地方が柔軟に物価高対策を行えるよう交付金を拡充し、積極投資によって地域の持続的な成長を支える姿勢を示しています。本市としても、地域性を踏まえた独自の交付金活用策や、国の方針を取り込んだ成長戦略が重要になります。物価上昇がもたらす市民生活や経済活動への影響を踏まえ、足元の経済対策と今後の成長戦略にどう取り組みますか。

市 本市は全国より物価高の影響が深刻であり、当面の負担軽減に加え、生産性の向上と持続的な賃上げの好循環が物価高の克服に必要です。そこでまず、国の方向性が明確な食料品の物価高支援などは、本定例会に補正予算を提案します。また、国の成長戦略には、本市が注力するGXなどが位置付けられているため、これをさらなる推進の機会とし、本市に集積する都市機能を最大限生かせるよう、国や企業などと連携を深めて戦略的に取り組みます。



■ 北海道新幹線の延伸(新函館北斗・札幌間)

Q 北海道新幹線の札幌延伸と開業の大幅な遅れが見込まれる中、本市の国に対する積極的な動きが見えません。国や北海道に任せるとはならず、開業の遅れで最大の影響を受ける本市こそ、先頭に立って積極的に要望活動を展開すべきだと考えますが、いかがですか。

市 2025年は、市独自の重点要望で、開業の遅れによる影響を最小化するための対策を国などへ要望したほか、本市が会長を務める「建設促進関係自治体連絡協議会」も同様の要望を行いました。今後は、開業の遅れに伴う影響の調査結果を踏まえ、具体的な対策を盛り込んだ包括的な支援を国などに求めています。

■ 手稲区への地下鉄延伸

Q 地下鉄の延伸は区民の悲願ですが、約28,000名の署名を添えて要望しても、採算性の検証に至っていません。本市は現在、人の移動や活動を把握する調査を行っており、このデータを用いて延伸の採算性を検証すべきだと考えますが、採算性の検証を行わない理由と延伸に必要な具体的な条件を伺います。

市 2018年度の需要推計で、市内全域で地下鉄の導入が必要となる区間は発生しないとの結果が出たことから、採算性の検証は行っていない。地下鉄延伸は、十分な需要による採算性の確保が条件であり、公共交通の在り方については、調査結果や人口動態などを踏まえ、全市的な交通体系の中で考えていきます。

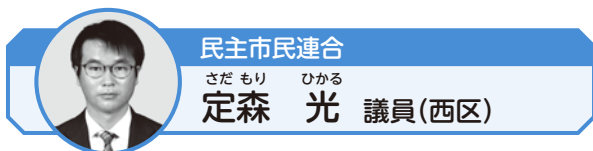


地下鉄東西線の路線図

■ 観光における手稲山の位置付けと取り組み

Q 地域のシンボルである手稲山は、観光資源として大きな可能性を秘めています。その価値を生かして、札幌全体の魅力向上につなげるためには、本市が明確な方向性を示し、民間投資を促すなど主体的に後押しすることが不可欠です。本市の観光振興における手稲山の位置付けと今後の取り組みを伺います。

市 手稲山は、自然景観と市街地に近接する立地を併せ持つ貴重な地域資源であり、さらなる価値の向上が必要な一方、民間所有の土地や施設が多いため、新たな取り組みには民間事業者の投資や創意工夫が欠かせません。それらを下支えする観点で連携や支援の在り方を整理し、手稲山の魅力向上を進めていきます。



民主市民連合

さだ もり ひかる

定森 光 議員(西区)

■ 路線バスの運転手確保の取り組み

Q 路線バスの運転手を確保するための取り組みは、一定の成果を上げているものの、運転手不足を背景とした減便や廃止は続いています。運転手の確保には、継続的な取り組みが不可欠であり、多様な人材が活躍できる環境づくりが求められますが、現在進めている取り組みを今後どのように進めていきますか。

市 本年度からの取り組みで、運転手の新規採用に改善の兆しは見えますが、減少傾向は続く見込みです。取り組みの効果を定期的に検証し、引き続き必要な施策を検討したいと考えています。



■ 「つながるさっぽろ条例」に基づく共生のまちづくり

Q 価値観が多様化する中、多文化共生の視点では、増加する外国籍市民と地域住民が、共に安全で安心して暮らすための関係性づくりが重要です。不便や不安を含めて率直に語り合い、お互いの顔が見える機会を積極的に作ることが必要だと考えますが、条例に基づく共生のまちづくりをどのように進めますか。

市 共生のまちづくりには、対話を重ねて理解を深める「心のバリアフリーの醸成」が重要と考えています。イベントなどで市民の知る機会や対話の機会を設けるとともに、外国籍市民には、日本語の習得支援のほか、相互理解を深める取り組みを一層進め、誰もがつながり合う共生のまちづくりを推進していきたいと考えています。

■ ヒグマの想定外の出没増加に備えた対応

Q 2025年のヒグマ出没件数は過去最多となり、現在の基本計画では想定外の事態です。こうした想定外の出没増加に備えた対応と体制の在り方の補強や改善など、基本計画の見直しが必要だと考えますが、いかがですか。

市 想定外の事態に備え、今後は出没状況の深刻さなど段階に応じた応援体制を構築します。基本計画は、国や北海道の動きを注視して、侵入抑制策の強化や個体数管理の導入など、有識者の意見を踏まえた検討を進めます。

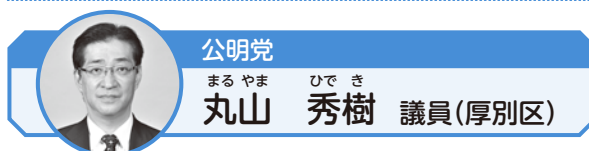
■ 地域の課題解決に向けた担い手の育成

Q 地域の支え合いの中心的な役割を果たしている町内会は、高齢化などで担い手不足が深刻です。一方で、多様な主体が連携したり、住民が事業を起こして地域課題に対応するなど新たな動きがあります。こうした地域の課題解決を担う実行力のある担い手を育てていく必要があると考えますが、いかがですか。

市 多様な主体が連携して支え合うことが重要であり、NPOが行う地域講座の開催支援や補助制度の新設、町内会などの運営基盤の強化に取り組んでいます。今後も実行力のある担い手が増えるような支援を行います。



手稲区穂星町内会での地域講座の様子



公明党

まる やま ひで き

丸山 秀樹 議員(厚別区)

■ 厳冬期の自然災害対策

Q 積雪寒冷地の本市で厳冬期に自然災害が発生した場合、長期避難や帰宅困難者への対策が重要です。そのため、スフィア基準^(注)の視点だけでなく、寒冷地視点の避難所整備や、大雪による影響など道路状況の迅速な把握が必要になります。厳冬期の自然災害を見据えた対策をどのように進めていきますか。

市 避難所の冬期災害の備えとして、ストーブの増強や温かい食事の提供体制を整備し、帰宅困難者への対策では、一時滞在施設の確保などを進めています。また、AIの画像判定による道路状況の迅速な把握の検証を進めており、今後も、厳冬期を見据えた避難所環境の改善や、最新技術を活用した対応の迅速化への取り組みを進めていきます。

(注) スフィア基準：正式名称は「人道憲章と人道対応における最低基準」。災害や紛争時に被災者が尊厳ある生活を送るために定められた国際的な最低基準のこと

■ 学校の危機管理対策

Q 市街地でヒグマの出没が急増し、子どもの登下校の安全確保を考慮して、臨時休校にするなどの影響が出ました。そのほかにも、学校への脅威は自然災害などもあるため、さまざまな危機に対応できるように備えておくことが重要です。現状の備えと今後の子どもの安全確保の取り組みについて伺います。

市 各学校では、危機管理マニュアルを作成して子どもの安全確保に努めています。ヒグマ対応では、学校が円滑に警察などと連携できるための資料の配布や、出没の急増に応じた学校への注意喚起を行ったほか、出没時の具体的な対応例などをマニュアルに盛り込むよう周知しました。今後も、学校がさまざまな災害などに対応できるように、適時適切なマニュアルの見直しや、家庭や地域社会と連携した危機管理体制の構築を進めます。

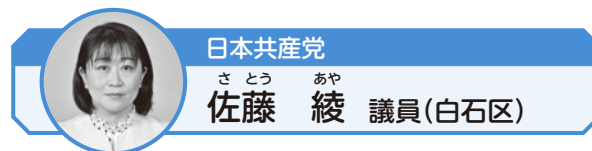
■ 新札幌駅周辺地区の歩行者ネットワークの充実

Q JR新札幌駅の周辺は、動線が複雑で移動しづらいという課題が指摘されており、今後、地域全体の利便性と快適性を高める視点からの総合的な整備が必要です。また、本市東部の交通結節点であり、商業や医療、行政機能などが集積することから、駅と周辺施設の回遊性を高めることが重要です。JR駅のリニューアルを踏まえて、駅周辺地区の歩行者ネットワークの充実をどのように進めますか。

市 整備済みのＪＲ駅と民間施設をつなぐ空中歩廊に加え、地下鉄駅の新たなエレベーターとバリアフリー経路が完成します。今後は、ＪＲ駅東側の商業施設をつなぐ連絡通路のスロープ拡幅など、地域の玄関口にふさわしい施設となるような改修を行う予定です。さらにエリア全体の案内サインの改善に向けて、ＪＲ北海道など関係機関と連携して、分かりやすい歩行者ネットワークを構築していきます。



工事中のJR新札幌駅



■ ジェンダーギャップの解消に向けた取り組み

Q 都道府県版ジェンダーギャップ指数で、北海道が3分野で最下位なのは、人口の約4割を占める本市の影響が大きいです。また、本市の道外転出超過数は、女性が男性の4倍であり、男女の待遇差が少なく働きやすい首都圏に格差を感じている女性が流出していると考えます。ジェンダーギャップの認識とその解消に向けた具体的な取り組みを伺います。

市 性別による役割分担意識や男女間の賃金格差など、女性が活躍しづらい現状があると認識しています。これらの改善には、市民や企業の意識改革が最も重要であるため、女性の活躍を推進する企業の認証制度などを実施し、成果を上げています。加えて、2026年度の市民意識調査の結果を踏まえた現状分析を行い、効果的な施策を検討していきます。

■ 除排雪に対する税金の使い方

Q 市民意識調査では、市政への要望の1位が長年「除雪」であり、交差点など道路の見通しや路面の段差の改善など、生活道路の除排雪徹底を市民は強く求めています。近年、除排雪費は増額されていますが、除排雪費は最優先されるべき経費であり、さらに増額が必要となっても税金の使い方として十分に市民の理解が得られると考えますが、いかがですか。

市 除排雪事業は、冬の市民生活や経済活動を守るために重要と考えており、これまで安全で安心な冬期の道路交通の確保に必要な対応を行ってきました。しかし、近年の財政状況は、物価や賃金水準の上昇で歳出額が増加しており大変厳しい状況です。さらに、将来的な税収の減少が見込まれており、今後の除排雪費の規模は慎重な検討が必要と認識しています。





坂元・荒井

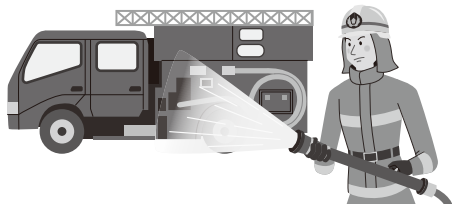
あら い いさ お

荒井 勇雄 議員(北区)

■ 消防士などの公務員の職業意識啓発

Q 海外では、消防士などの公的な使命を担う職業が、映画などで人々から尊敬される職業として描かれ、職務への理解と敬意が根付くような意識啓発がされています。一方、日本では、公務員は安定した職業という一面的なイメージで語られることが多く、使命感や誇りが十分に共有されていません。公務員が誇りと責任を持って働くためには、職業意識の向上と市民の理解、次世代への公的な使命の啓発が重要だと考えますが、どう取り組みますか。

市 公務員が職務に誇りや使命感を持つことや、市民に公務員の仕事への理解を深めてもらうことは重要です。そのため、職員が自らの業務の意義を認識できるよう、職員向けのキャリア支援や組織目標の共有に取り組んでいます。また、消防職員が小学校などで啓発したり、業務内容のPR動画を配信するなど、仕事の魅力や重要性を発信しています。今後も市民の期待に応えられるように、職員の意識の向上や効果的な情報発信に取り組んでいきます。



健康さっぽろ

まる おか もり ゆき

丸岡 守幸 議員(東区)

■ 市長や副市長などの特別職および市議会議員の期末手当の据え置き

Q 本市の財政状況は、物価高騰などの影響で一層厳しさを増しており、2026年度の予算編成では、内部経費の徹底的な見直しや政策的経費を圧縮する方針を打ち出しています。このような中、例年市職員の給与改定に連動している市長や副市長などの特別職や市議会議員の期末手当は、引き上げを行うべきではないと考えますが、いかがですか。

市

市長や副市長などの特別職や市議会議員の期末手当は、以前から国の基準に準じた支給割合としており、本年も同様の改定を行うことが適当だと考えています。今後の財政状況を見通しながら、効率的な財政運営を行っていくことは極めて重要と認識する一方で、給与に見合う職責を果たすことこそが求められていると考えており、引き続き責任を持って市政運営に取り組んでいきたいと考えています。



日本維新の会

は だ だい せん

波田 大専 議員(中央区)

「副首都構想」に対する本市の取り組み姿勢と北海道との連携

Q

国では、東京一極集中の是正や首都のバックアップなどを目的とした「副首都構想」の法制化に向けた議論を進めています。本市および北海道は、地理的にも食料やエネルギーの供給面からも副首都を担う潜在能力があり、その指定を受けることで、雇用の創出や経済活性化につながるだけでなく、本市が世界に輝く大きなチャンスとなります。そのため、副首都の指定に向けて積極的に取り組むべきだと考えますが、指定に向けた市長の取り組み姿勢と北海道との連携について伺います。

市

本市が所属する指定都市市長会では、地域の実情に応じた新たな大都市制度の必要性から「特別市制度」の法制化案を取りまとめました。「副首都構想」とは、多極分散型社会を目指す共通点はあるものの、制度の趣旨が異なるため、本市にとって真に意義のある制度であるか、北海道との連携を含めて国の議論の動向を見極めていきたいと考えています。

音声版・点字版のご案内

さっぽろ市議会だよりの音声版・点字版を発行しています。希望される方は、政策調査課(011-211-3164)へご連絡ください。



議員会
から

市民が安心できる
暮らしの実現に向けて



▲年頭のあいさつをする長内直也議長

1月5日、本会議場で、新年の議員会総会を開催しました。

議員会会長である長内直也議長から年頭のあいさつがあり、「近年、激甚化・頻発化している自然災害に加え、昨年、ヒグマの出没件数は過去最多となりました。また、依然として続く物価高騰や生産年齢人口減少に伴う人手不足などにより、市民生活や企業活動は大きな影響を受け続けております。このように、社会経済状況が不安定な中、市民の皆さまが安心して暮らすことができる毎日を実現するため、私たちが向き合っていかなければならない地域課題は山積しております。札幌が今後も輝き続け、持続可能な街であり続けるために、議員一同、熱い思いを持ち、真摯に議論を重ねながら、山積する課題の解決に向け、積極的に取り組んでいかなければなりません。」と出席議員に呼びかけました。

友好都市提携45周年
中国・瀋陽市を訪問しました

2025年11月、瀋陽市との友好都市提携45周年を迎え、村上ゆうこ副議長を団長とする議会訪問団12人と秋元市長や経済訪問団など総勢39人が、瀋陽市を訪問しました。

議会訪問団は、瀋陽市の議会にあたる瀋陽市人民代表大会常務委員会を表敬訪問し意見交換を行ったほか、無人自動運転車両などの事業を展開する企業や国際展示場などの視察、記念イベントおよびレセプションに出席しました。

今回の訪問は、この45年間で築き上げた両市の友好関係の深さを改めて実感する貴重な機会となりました。今後も両市のさらなる交流と発展に取り組んでまいります。



▲瀋陽市の議会を表敬訪問する村上ゆうこ副議長

令和8年 第1回定例会 審議日程

※通常、本会議は午後1時からの予定です。
会議は全て傍聴できます。



▲会議日程

2月12日から3月26日までの会期43日間で開催し、各会派の代表質問は、2月18日から3日間の予定です。
日程は変更する場合がありますので、事前にご確認ください。(担当:議会事務局議事課 TEL:211-3166)

月日	審議日程
2月12日(木)	本会議 招集日、市長提案説明など
2月18日(水)	本会議 代表質問
2月19日(木)	本会議 代表質問
2月20日(金)	本会議 代表質問、議案付託、予算特別委員会①(副委員長長の互選など)
2月25日(水)	常任委員会
2月27日(金)	本会議 補正予算など議決
3月2日(月)	予算特別委員会②(1部:会計室/財政局/議会事務局/選挙管理委員会/人事委員会/監査委員 2部:建設局)
3月4日(水)	予算特別委員会③(1部:消防局/危機管理局 2部:下水道河川局/水道局)
3月6日(金)	予算特別委員会④(1部:環境局 2部:保健福祉局)
3月10日(火)	予算特別委員会⑤(1部:まちづくり政策局 2部:保健福祉局)※午前10時から
3月12日(木)	予算特別委員会⑥(1部:総務局/デジタル戦略推進局 2部:農業委員会/経済観光局)※午前10時から
3月16日(月)	予算特別委員会⑦(1部:市民文化局 2部:交通局/スポーツ局)
3月17日(火)	予算特別委員会⑧(1部:子ども未来局 2部:病院局)
3月19日(木)	予算特別委員会⑨(1部:教育委員会 2部:都市局)
3月24日(火)	予算特別委員会⑩(討論および採決)
3月26日(木)	本会議 最終日



札幌市議会ホームページアドレス

<https://www.city.sapporo.jp/gikai/>

